

こころの癒し ～「ありがたい」



先週のことですが、1年生が路線バスに乗って創造館へお出かけする前に、教室でダンスをしていました。他の教室へ行く途中だったので、「行ってらっしゃい！」と声だけかけて行こうと思い、廊下から中をのぞいてタイミングを見計らっていました。

すると後ろのドアに近い席にいたAさんが、私が外にいることに気づき、担任の先生に知らせてくれたようです。

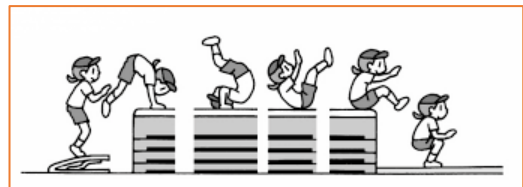
Aさん 「校長先生がろうかから中を見ているよ。」

先生 「そうなんだ。じゃあ『中へどうぞ』ってお話ししたらどう?!」

Aさんは私を中に招き入れてくれました。そして、「校長先生も踊って!」と誘ってくれました。子どもたちは私のぎこちない踊りを笑うでもなく、一緒に楽しく踊ってくれました。おまけに、生活科遠足出発前の集合写真にも入れてくれました。お友だち同士の関わりの延長線上に私へのやさしさがあるのだと思います。心がほっこりして、癒されます。「ありがたいことだなあ。」と思いました。



4年生の体育の授業におじゃましました。今取り組んでいるのは**跳び箱運動**です。3年までにやったことがあるやさしいおさらいの跳び方から始めて、今は**台上前転**が共通課題です。(右図)



簡単に言うとマット運動の前転を跳び箱の上でやるような技なのですが、**これがなかなか難しい**のです。下から上に跳びながら行わな

ければいけませんし、手をついたときにしっかり体重を支えないとまっすぐに回れず、跳び箱から横に落ちてしまいます。いきなり跳び箱の上で練習するのはこわいので、ステージの上にマットを敷き、ステージ下の台から跳んでマットの上で前転する練習の場を担任の先生方が用意してくれました。

今日は先週お休みした日があったBさんにとって初めての練習です。やはりはじめはうまくできませんでした。でも、仲間にアドバイスをもらいながら、**粘り強く練習**します。跳ねる感覚やあごの引き方、背中を丸くして回るイメージなどが次第に分かってきたようで、私も「いい感じになってきたね。」「今のが一番よかったよ。」と声をかけます。するとBさんも、「**うまくなってきた気がする**。」と声が出ます。その後も繰り返し練習に取り組み、自信を深めて今日の学習が終わりました。今日の自己評価はポイントが高かったことでしょう。**やる気がある子どもの姿に出会えるのは本当にうれしい**ものです。Bさんの汗と笑顔にも癒されました。